

5 - 6 近畿地方の上下変動

Vertical Movement in the Kinki District

国土地理院
Geographical Survey Institute

1) 高槻 - 大津間の上下変動

1982.1 ~ 2 にいたる約 1 年間の上下変動 (第 1 図) には大きな変化はない。第 2 図は同じ路線であるが、左側は J216 (京都) から BM221 迄、右側は F20 (大津) から J216 を通って BM1296 に至る間について累積変動量を図示したものである。この地域には略図に示したようにいくつかの断層があり、とくに檜原断層と交叉する BM1297 の付近で沈下が著しいが、地盤沈下の影響が大きく、断層の運動を推定するのは困難である。

2) 阪神地区の上下変動

1) の路線の南西方向への延長である (第 3 図)。1980 年から 81 年にかけて著しい変化はない。

3) 和歌山 ~ 柏原間の上下変動

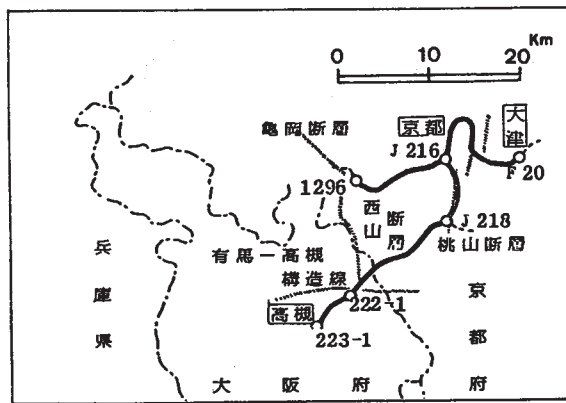
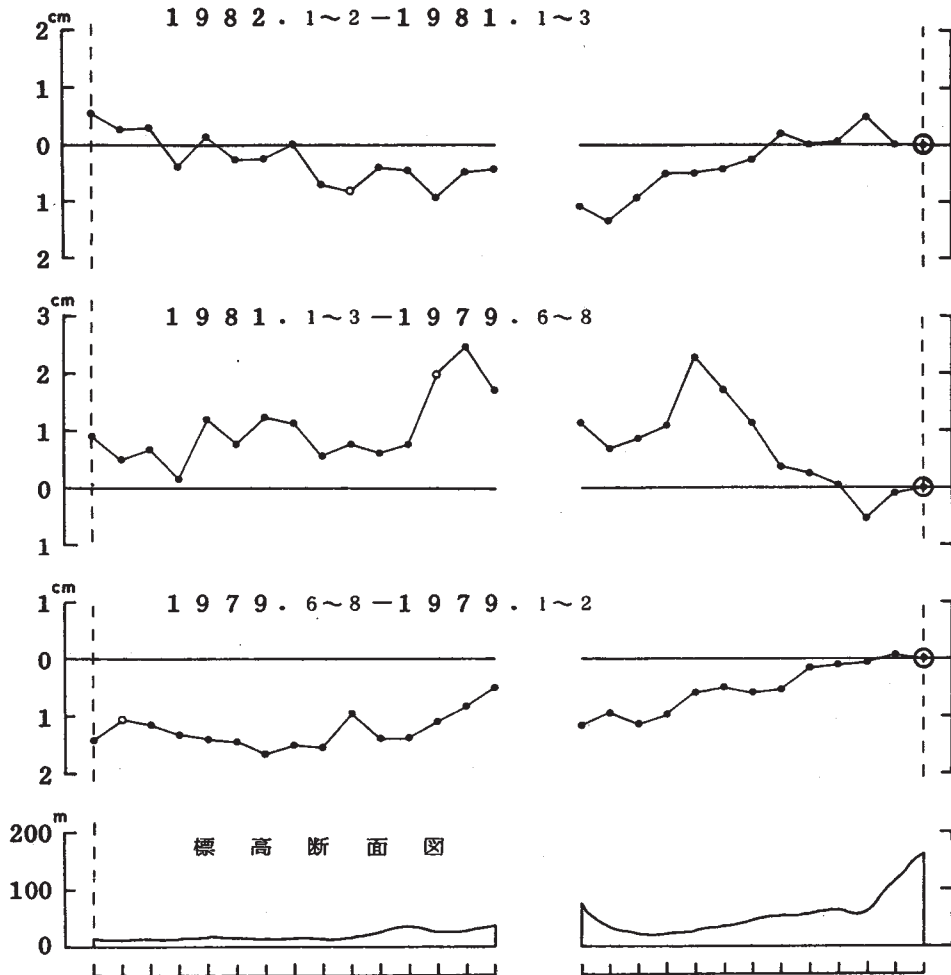
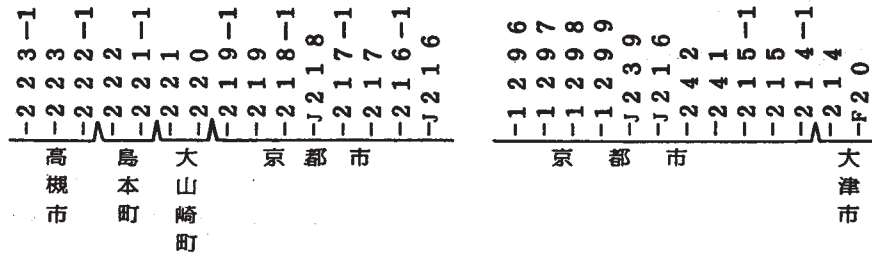
2) の路線を更に南西方向へ延長した路線である (第 4 図)。泉大津市 ~ 貝塚市にかなりの隆起がみられるが、地盤沈下の回復現象と思われる。¹⁾

4) 和歌山市付近の上下変動

3) からさらに南にのびる路線である (第 5 図)。1981 年に 2 回行なわれた測量の結果からはとくに変化はないとみられる。

参 考 文 献

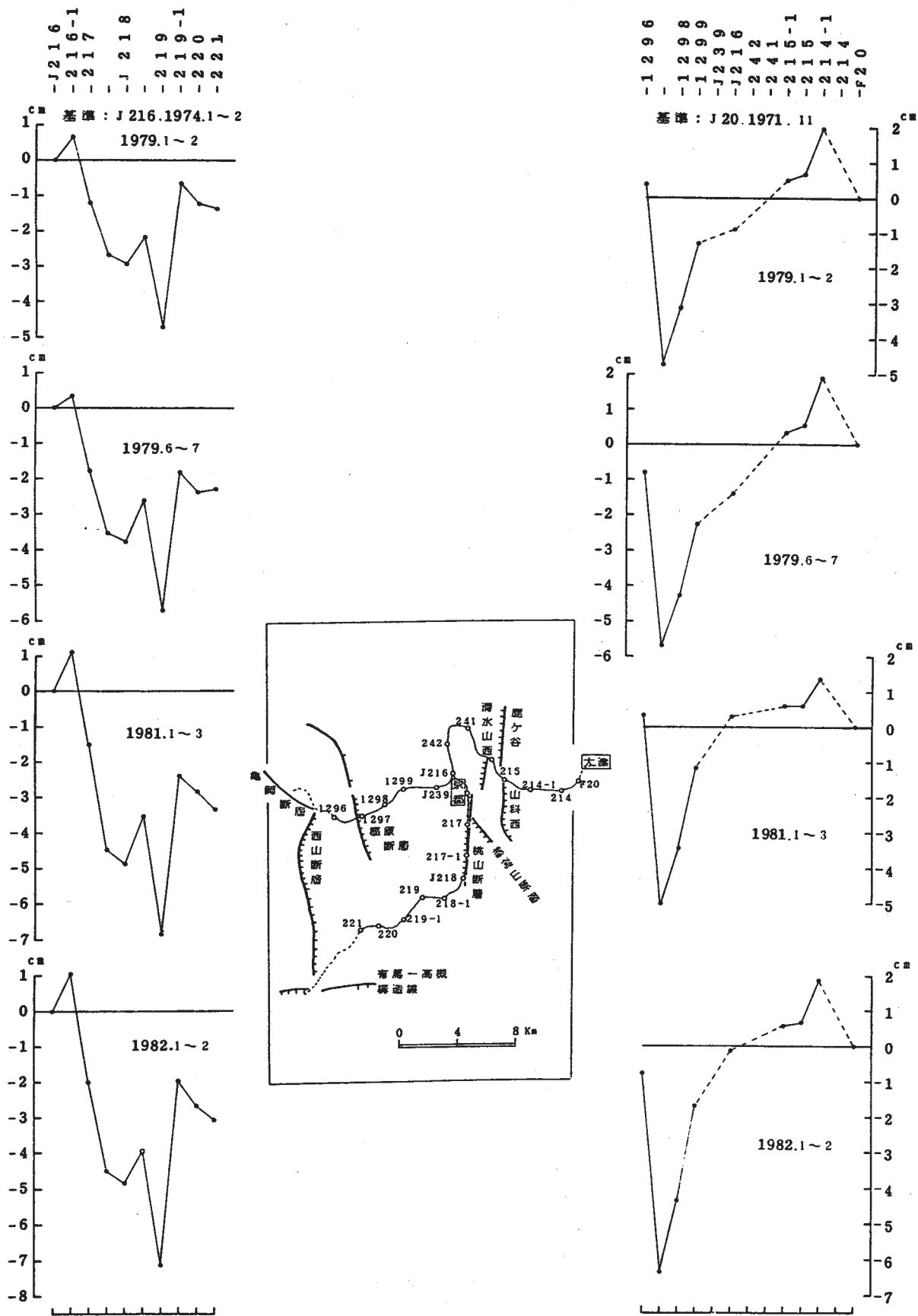
- 1) 国土地理院測地部：近畿地方中部の上下変動，連絡会報，26 (1981)，256 ~ 261.



※白又キは改埋点を示す。

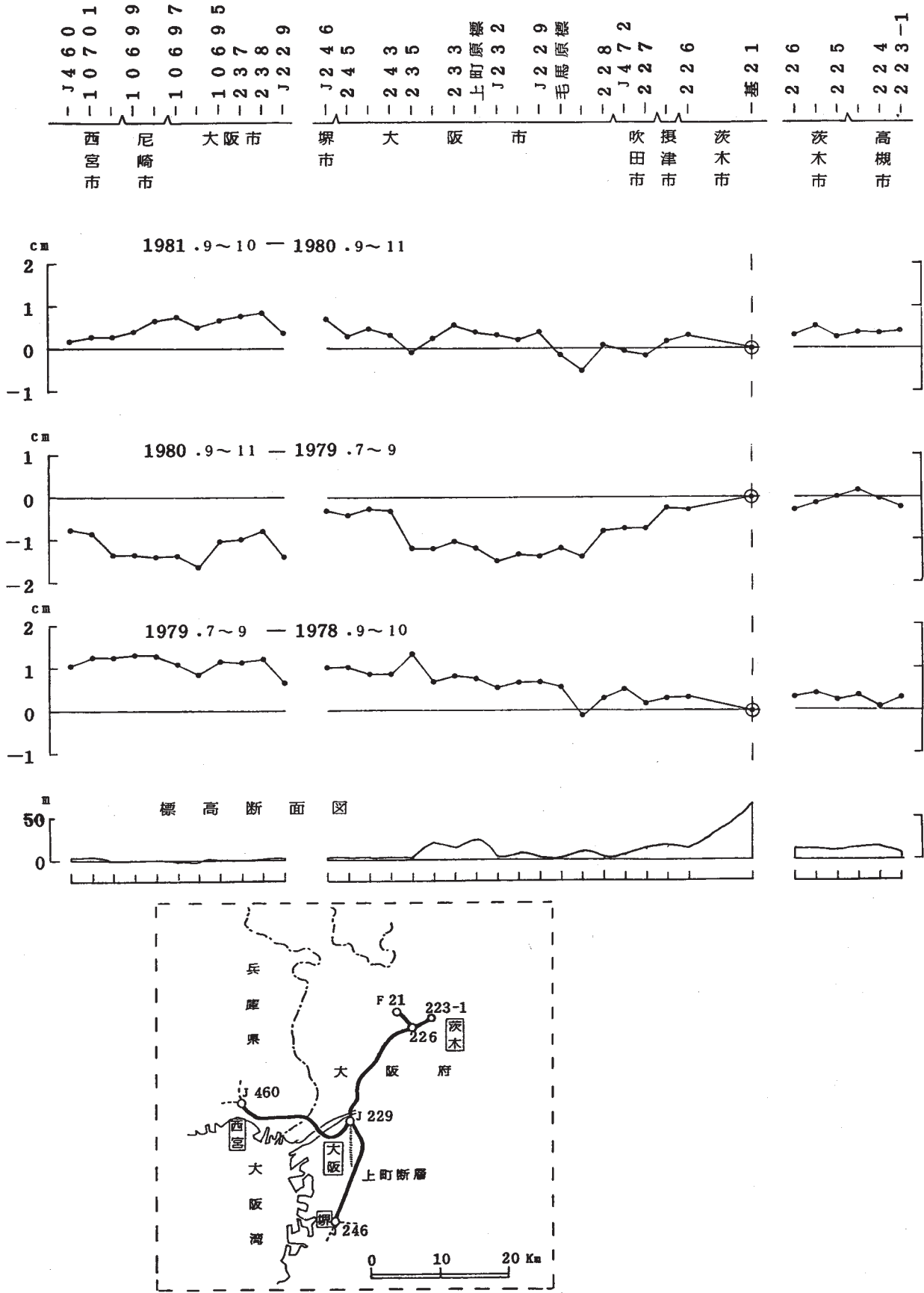
第1図 高槻～大津間の上下変動

Fig. 1 Vertical movement between Takatsuki and Otsu.



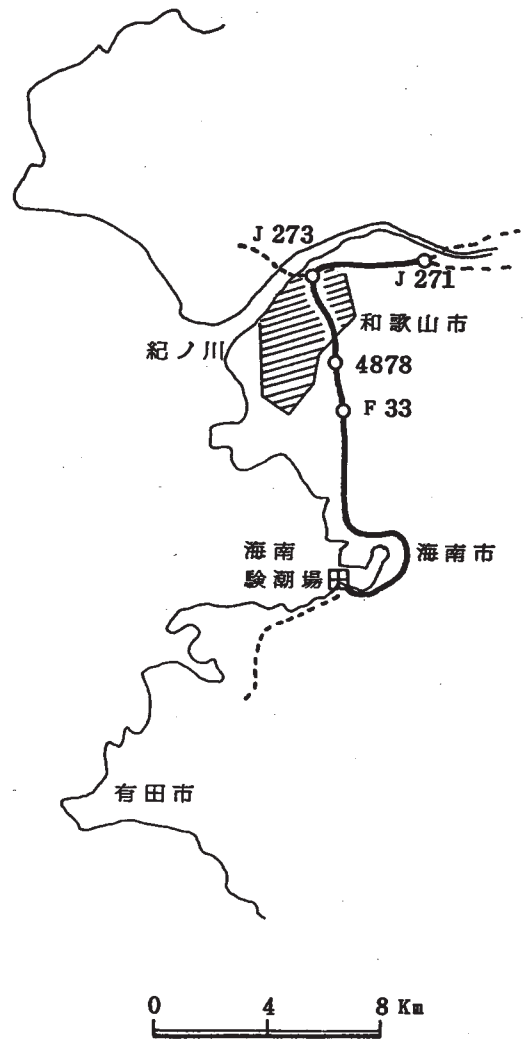
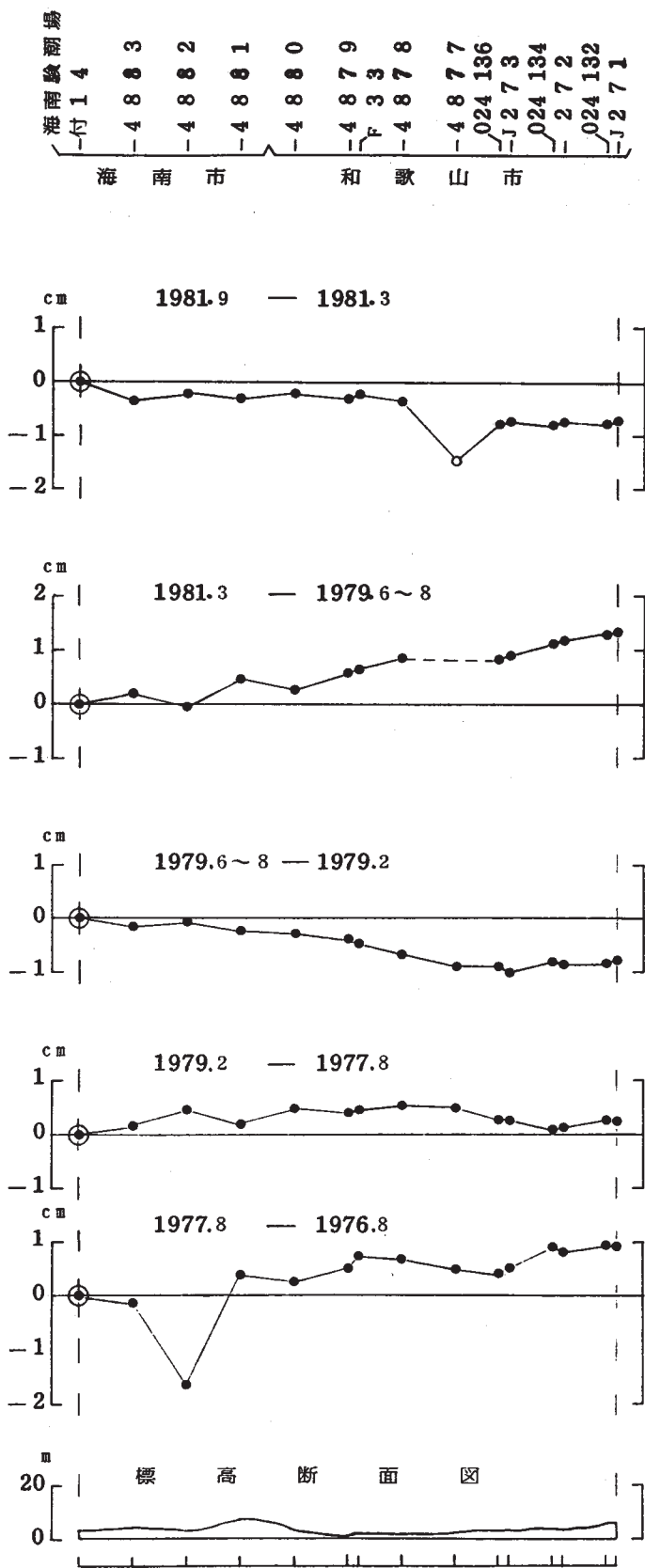
第2図 京都付近の上下変動

Fig. 2 Vertical movement in and around Kyoto.



第3図 阪神地区の上下変動

Fig. 3 Vertical movement in the Hanshin (Osaka - Kobe) district.



白ヌキは改埋点を示す。

第5図 和歌山市付近の上下変動

Fig. 5 Vertical movement between Kainan tidal station and Wakayama.